



ヒゼンダニ 体長0.4 mm 灰白色



カイセン症の皮疹



カイセントネル

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生 多い

ヒゼンダニは、別名カイセン（疥癬）ともいわれ、皮膚に寄生してかゆみの強い皮膚炎（カイセン症）をおこします。

カイセン症は患者との接触などで容易にうつります。

老人ホーム、寮、養護施設などでの集団発生も多くみられます。

症状

1ヵ月ほどの潜伏期間の後に散発性の赤い皮疹ができます。皮疹は腹、胸、太もも、腕にでき、手のひらや指に「カイセントネル」が見られることもあります。

診断は、皮疹からの虫卵（虫体）の検出により行います。また、寝具類からも虫の有無で確認できます。

予防

患者との寝具の共用や接触はさけ、患者の寝具や下着は別に洗濯します。

患者に直接接触した場合は、アルコール液（エタノール50%）で消毒します。

治療

ヒゼンダニによるカイセン症は、虫さされ、じん麻疹、湿疹、かぶれなどとの区別が困難ですが、ヒゼンダニの有無が決め手になります。

皮膚科の専門医による診断と治療が必要です。素人判断でのかゆみ止めの軟こうや内服薬の使用は、かえって症状が悪化することがあります。